

2019/10/07

2019年度 言語教育研究センター 授業アンケート(日本語) 報告書

実施期間：2019年7月8日（月）～7月19日（金）

対象者数：1,549人

回答者数：1,409人

（回答率：90.96%）

実施方法：日本語科目(48クラス、教員毎計101件)の授業内で、履修者全員を対象に実施。設問にマークシートで回答する形式。

目的：今後のカリキュラム改善、授業運営向上の参考とする。また、交換留学協定校からの問い合わせがあった際の基礎資料として累積する。

分析結果と示唆

- 日本語プログラム全体については、コースに関する6項目の平均点が4.33（5段階評価、以下同様）、担当講師に関する5項目の平均点が4.64であったことから、昨年度（コース：4.28, 講師：4.66）に続き、受講生は日本語の学習に概ね満足しており、それが教員の指導法によるものであることが分かった。
- 項目別では、「担当講師は、常に授業の準備を十分に行なっていた」（4.74）と「担当講師は、快く学生のサポートを行なった」（4.70）の点数が特に高く、各教員が周到に授業の準備をし、親身になって指導していたことが窺える。一方で、「プレイスメントテストの結果は適切だった」（4.27）と「上智大学におけるこの前のコースからの移行は円滑だった」（4.02）が最も低い点数であったことから、昨年度（プレイスメント：4.15、コース移行：4.00）からは多少改善したものの、履修しているコースのレベルについて不満を抱えている学生が一定数いることが明らかになった。
- トラック別の結果では、インテンシブ（コース：4.39, 講師：4.62）、レギュラー（コース：4.31, 講師：4.66）と比べ、Reading & Writing（コース：3.95, 講師：4.05）の点数が低かった。特に「上智大学におけるこの前のコースからの移行は円滑だった」（3.38）、「担当講師は、快く学生のサポートを行なった」（3.95）、「担当講師の説明はわかりやすいものだった」（3.66）の3項目の点数が顕著に低いことから、Reading & Writing各コースのレベル設定の妥当性を検証するとともに、担当講師に対して学生対応や指導法の改善を促す必要性が示唆された。

調査結果は、上智大学ファカルティ・デベロップメント委員会HP (<http://www.fd-sophia.jp/>)上で公開する。アンケート用紙の保存期間は、5年間（2024年度末まで）とする。在籍者数等の基本データを除き、アンケートで得られたデータ及び報告書の内容は全て上智大学言語教育研究センターに帰属する。引用、転載を希望する場合は、言語教育研究センターにご相談ください。

集計種別	全体
------	----

登録者数	1,549
------	-------

回答者数	1,409
------	-------

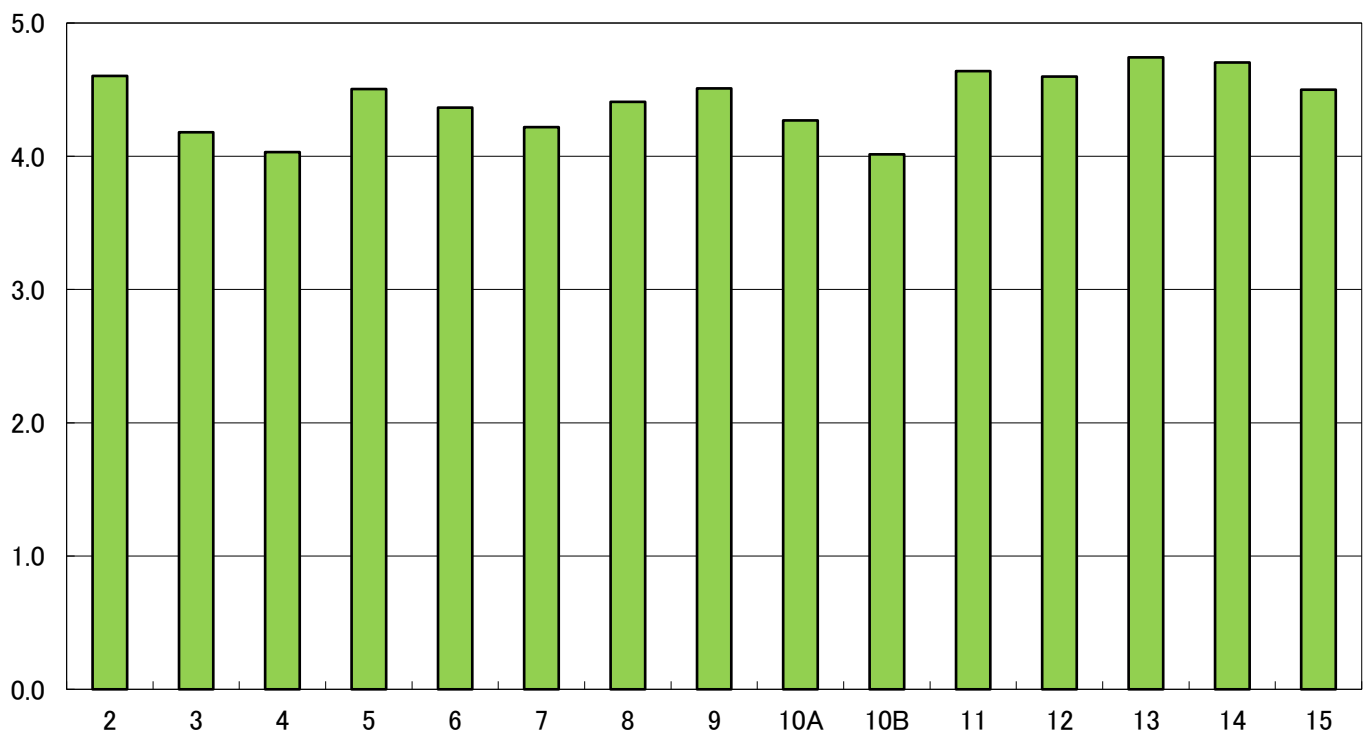
学生の身分

学部正規生	交換留学生	ノンディグリー生 (CIEE)	ノンディグリー生 (その他)	左記以外	無答・無効
250	513	146	144	10	346

項	項目	平均点	回答数					有効回答	無答・無効
			5	4	3	2	1		
学生	1 このコースの単位修得が必要か。 5:はい、1:いいえ		1,008				343	1,351	58
	2 私はこのコースの到達目標を知っていた。	4.60	923	415	43	11	5	1,397	12
	3 私はこのコースの学習に懸命に打ち込んだ。	4.18	560	593	194	39	12	1,398	11
	4 このコースから期待されるあなたの最終成績は何だと思うか。 5:A、4:B、3:C、2:D、1:F	4.03	453	618	231	63	18	1,383	26
コース	5 このコースから多くのことを学んだ。	4.50	870	409	91	20	11	1,401	8
	6 教材は日本語学習のために有益で適切だった。	4.37	767	443	134	44	11	1,399	10
	7 このコースが要求するものが厳しかった。	4.22	640	488	218	51	4	1,401	8
	8 このコースの内容は到達目標が良く反映されたものだった。	4.41	743	512	123	15	6	1,399	10
	9 成績評価は公平だった。	4.51	874	391	97	26	5	1,393	16
	10 問10はAかBを選んで回答します								
	A プレイスメントテストの結果は適切だった。	4.27	483	234	146	39	5	907	502
B 上智大学におけるこの前のコースからの移行は円滑だった。	4.02	309	206	146	46	20	727	682	
担当講師	11 担当講師は、学生に対し話し合いや授業参加について十分な機会を与えた。	4.64	1,011	303	58	14	11	1,397	12
	12 担当講師は、学生たちに規律を守らせていた。	4.60	964	339	74	17	6	1,400	9
	13 担当講師は、常に授業の準備を十分に行っていた。	4.74	1,104	252	32	6	7	1,401	8
	14 担当講師は、快く学生のサポートを行なった。	4.70	1,096	231	47	17	10	1,401	8
	15 担当講師の説明はわかりやすいものだった。	4.50	910	347	90	35	17	1,399	10

全体平均

■全体平均



集計種別	学部正規生	交換留学生	ハンディグリー生 (CIEE)	ハンディグリー生 (その他)	左記以外	無答・無効	登録者数	回答者数
全体	250	513	146	144	10	346	1,549	1,409
レギュラー科目	111	295	132	78	6	190	904	812
インテンシブ科目	18	193	5	42	2	100	393	360
Reading & Writing	22	2	1	1	0	15	43	41

項	項目	平均点			
		全体	レギュラー	インテンシブ	Reading & Writing
学生	1 このコースの単位修得が必要か。 5:はい、1:いいえ				
	2 私はこのコースの到達目標を知っていた。	4.60	4.60	4.67	4.46
	3 私はこのコースの学習に懸命に打ち込んだ。	4.18	4.15	4.27	4.05
	4 このコースから期待されるあなたの最終成績は何だと思うか。 5:A、4:B、3:C、2:D、1:F	4.03	4.03	3.99	3.83
コース	5 このコースから多くのことを学んだ。	4.50	4.47	4.59	3.98
	6 教材は日本語学習のために有益で適切だった。	4.37	4.34	4.35	4.15
	7 このコースが要求するものが厳しかった。	4.22	4.19	4.41	4.00
	8 このコースの内容は到達目標が良く反映されたものだった。	4.41	4.39	4.47	4.07
	9 成績評価は公平だった。	4.51	4.51	4.54	4.02
	10 問10はAかBを選んで回答します				
	A プレイメントテストの結果は適切だった。	4.27	4.25	4.27	4.03
	B 上智大学におけるこの前のコースからの移行は円滑だった。	4.02	4.00	4.07	3.38
担当講師	11 担当講師は、学生に対し話し合いや授業参加について十分な機会を与えた。	4.64	4.65	4.63	4.20
	12 担当講師は、学生たちに規律を守らせていた。	4.60	4.62	4.59	4.07
	13 担当講師は、常に授業の準備を十分に行なっていた。	4.74	4.76	4.71	4.37
	14 担当講師は、快く学生のサポートを行なった。	4.70	4.75	4.69	3.95
	15 担当講師の説明はわかりやすいものだった。	4.50	4.51	4.49	3.66